

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第10号

家族でつくろう人権標語が 放送されています。 掲示されています。

放送委員会では給食の時間中に「家族でつくろう人権標語」の作品を提出した児童自身が読んで紹介しています。(市への出品作品は校長室前に掲示しています。)

標語をつくる際、大切にしたいのは何かと言えば、もちろん、その標語で何を伝えるのかという目的意識でしょう。それに加え、どうしたらその目的が達成できるかという表現上の工夫が考えられます。読んでスッと受け入れやすい標語には特徴があります。それには例えばリズムがあります。五音七音五音だったり繰り返しがあったりするものです。記憶にも残りやすいと感じました。

そうした作品は、特設の人権学習と日頃の国語の授業での学習が効果的に積み重ねられた成果だと言えます。

私が今回5年生の標語を読んで印象に残ったのは次の作品です。

「ありがとう

言葉と言葉の

バトンパス」

言霊という言葉があります。これは、古代の日本人がことばに霊が宿っており、その霊のもつ力がはたらいて、ことばにあらわすことを現実に実現する、と考えていたというものです。私たちは言葉で自分の気持ちを伝えたり、相手の考えを理解したりします。上記の作品からは、作者の日頃の言葉のやり取りから実感として生み出されたもの、または願いとして綴られたものとしても想像が膨らみます。いいですね。

考えようスマホとの距離

— 県教委ホームページ

「親の学び」オンデマンド講座から—

No.	質問	はい
1	起きてまずすることはスマホのチェック	
2	出かけるときはモバイルバッテリーを必ず持っていく	
3	好きなものより映えるものを買いがち	
4	外で落としたくないのは財布よりスマホ	
5	お風呂に入る時(トイレに行く時)もスマホを持っていく	
6	スマホを見ながら眠ってしまうことがある	
7	実際は何も起こっていないのに、スマホが光った(音が鳴った)気がする	
8	スマホが身近になるととても不安になる	

上記のスマホ日常あるあるチェック8項目に対して「はい」を多く回答すると、スマホ使い過ぎの可能性が指摘されます。

そして、「どうして、つついスマホを使い過ぎてしまうのか」「スマホの使い過ぎを防ぐためにはどうしたらよいか」を改めて考えたり親子で話し合ったりして機会にすることが出来ます。スマホ以外にもメディアコントロールについて親子で話し合い、決めたことを実行できる夏休みであってほしいと願っています。

これから始まる夏休み、心身ともに健やかな毎日を過ごせるよう「早寝、早起き、朝ごはん」とともに確認しておくのもいいのではないかと思います。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索